



— ふ ぐ る ま —

図書館だより 195号

(2014. 6. 1)

三郷町立図書館

三郷町勢野西1-4-4

TEL 0745 (33) 3030

FAX 0745(33) 3188

<http://www.lib.sango.nara.jp/>

携帯電話 <http://www.lib.sango.nara.jp/mobile/>

雨上がりのカタツムリ



雨上がりの木の枝や葉っぱの上で、渦巻きの殻を乗せ、2本のツノを動かしながらゆっくり歩く愛嬌のあるカタツムリは、子供たちに昔から親しまれています。しとしと降る心地よい雨音に、自然の静かな時の流れを感じながら、図書館の本をゆっくり読んでみませんか。

図書館カレンダー

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

開館時間：午前9時30分～午後7時（日曜日は午後5時まで）

【休館日】

- ・毎週水曜日
- ・6月 2日（月）館内整理日
- ・7月 7日（月）館内整理日
- ・7月21日（月）海の日

— まど・みちお 特集 —

童謡「ぞうさん」「やぎさん ゆうびん」「ふしぎなポケット」で知られる、まど・みちお氏が今年2月に104歳で亡くなりました。

氏は1909年（明治42年）に山口県に生まれ、台湾で幼少期を過ごしました。雑誌「コドモノクニ」に投稿した詩（「ランタナの籬（かき）」「雨ふれば」）が北原白秋に認められ（「まど・みちお全詩集」に掲載）、詩や童謡の創作に力を入れ始めました。その後1941年からの太平洋戦争を経て、児童雑誌「チャイルドブック」の編集に携わりました。

1951年に、「ぞうさん」が團伊玖磨氏の作曲でNHKラジオからはじめて放送されました。1968年には、はじめての詩集「てんぷら ぴりぴり」（野間児童文芸賞）が出版され、1992年には「まど・みちお全詩集」（芸術奨励文部大臣賞）が出版されました。また同年、日米同時出版された「THE ANIMALS どうぶつたち」は、美智子皇后による選・英訳によるものでした。

その後、1994年のIBBY（国際児童図書評議会）により作家の全業績に対して贈られる、日本人初の国際アンデルセン賞作家賞と、2003年の日本芸術院賞の、大きな二つの受賞がありました。

2009年には百歳を迎え、詩集2冊が出版され（「のぼりくだりの」「逃げの一手 — 100歳詩集」）、2013年にも詩集2冊が美智子皇后の選・英訳により出版されました（「けしごむ Eraser」「にじ Rainbow」）。

☆ 詩集

*児童書（911マ）

「てんぷら ぴりぴり」「きりかぶのあかちゃん」「まめつぶうた」
「ぞうさん」「風景詩集」「いいけしき」「しゃっくりうた」
「ぼくがここに」「まど・みちお全詩集」「おなかの大きい小母さん」
「うめぼしリモコン」「でんでんむしのハガキ」「ネコとひなたぼっこ」
「のぼりくだりの」

*一般書（911.56マ）

「まどさんのうた」「くまさん」「せんねんまんねん」
「THE ANIMALS どうぶつたち」「それから・・・」
「ぞうさん・くまさん」「きょうも天気」「こんなにたしかに」
「ういっし詩集」
「逃げの一手—100歳詩集」「まど・みちお人生処方詩集」
「けしごむ Eraser」「にじ Rainbow」
シリーズ「まどさんの詩の本」 ほか多数

☆ まど・みちおの言葉

氏は言葉について次のように著書に書いています。

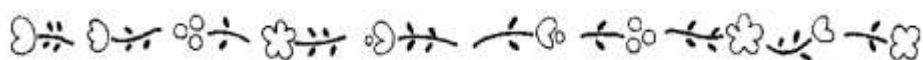
「言葉の響きを大切にしたい。言葉は、意味だけでなく響きも人間の大きな財産なんです。・・・言葉自身が遊びたがっているところがあるように思えるんです。それに乗っかって書くと、すごくいい言葉が生まれる」と。百余年の間に詩人がみつめてきたものは詩集というかたちで、私たちの財産として残りました。言葉が詩になるとき、そこにはものを見つめる穏やかな眼差しがありました。「どんな小さなものでもみつめていると、宇宙につながっている」という氏の言葉は、詩の創作の原点だったのでしょうか。氏はまた絵も描いています。その抽象画は、「この世のどこにもない世界、この世にひとつきりの、自分の世界」を描いたものでした。

*エッセイ

「どんな小さなものでもみつめていると宇宙につながっている」(914.6マ)

「百歳日記」(914.6マ)

*画集「とおいところ」(723.1マ)



武鹿悦子氏詩集『星』が「日本児童文学者協会賞」受賞！！

三郷町在住の詩人・武鹿悦子氏の詩集『星』が、2014年第54回日本児童文学者協会賞を受賞されました。氏は、誰もが知っている「きらきらひかる おそらの星よ・・・」の歌「きらきらぼし」の作詩をされ、詩や児童文学の創作で現在活躍中でいらっしゃいます。

これまでに、童謡集『こわれたおもちゃ』により第6回赤い鳥文学賞特別賞と第6回日本童謡賞を受賞され、詩集『ねこぜんまい』により第30回サンケイ児童出版文化賞と第13回日本童謡賞を受賞、また詩集『お花見』により第8回少年詩賞を受賞されました。また長年の功勞に対して第7回サトウハチロー賞、第50回児童文化功勞賞を受賞されました。現在、その詩や歌が国語教科書や音楽教科書に掲載されています。2014年3月には、武鹿悦子童謡曲集『ハリハリのイガイガのサボテン』が出版されました。

詩集 『星』 武鹿 悦子／著 (911.56ブ)

「めぶき」から「星」まで30数篇の詩がきらきら輝いています。

※ 館内の「武鹿文庫」と図書館ホームページの「武鹿文庫」のページもご覧ください。

6月の行事予定

☆ おはなし会

とき 1日・8日・15日・22日・29日（毎週日曜日）
小さい子ども向け 午前10時30分～10時50分
大きい子ども向け 午前11時～11時30分
ところ おはなしルーム



★ 土曜の午後のおはなし会

とき 28日（土）午後2時
ところ おはなしルーム

☆ フロアー・コンサート

とき 28日（土）午後4時
ところ おはなしルーム前

演奏 ギター・マンドリン・アンサンブル・ブルースカイ

★ 上映会

土曜日 ・ 午後2時上映（午後1時30分開場） 視聴覚室

7日（土） 「釣りバカ日誌 2」（1989年） 97分
監督／栗山 富夫 出演／西田 敏行、三國 連太郎

14日（土） 「恋文」（1953年） 96分 白黒
監督／田中 絹代 出演／森 雅之、久我 美子、宇野 重吉

21日（土） 「赤ちゃん教育」（1938年） 102分 白黒
監督／ハワード・ホークス
出演／ケイリー・グラント

28日（土） 「私が棄てた女」（1969年） 116分 白黒
監督／浦山 桐郎 出演／河原崎 長一郎、浅丘 ルリ子

☆ 生涯学習室 開室

毎週 土・日曜日 と6月23日（月）～7月1日（火）（休館日を除く）
午前9時30分～閉館30分前まで

* 町内在住の方

